



札幌隊友会 滝川支部  
だより第12号(29.1.1)



発行所 札幌地方隊友会滝川支部  
<http://www.waride.net/takitaiyuu/>

## 支部長挨拶

隊友会滝川支部会員の皆様  
そしてご家族の皆様、新年  
明けましておめでとうござ  
います。今年は酉年であります。  
ますが、会員・ご家族の中には、年男・年女の方も居られると思いま  
す。酉のつく年は「取り込む」に繋がり、また運氣もお客様も取り込めるとともに「果実  
が極限まで熟した状態」を表しており、物事が頂点まで極まった状態と言われおりま  
す。したがいまして、今年一年、「酉」にあ  
やかつて、健康で輝かしい一年になることを  
ご祈念申し上げ、隊友会滝川支部の事業  
推進に暖かいご支援ご協力を重ねてお願  
い申し上げまして新年のご挨拶といたします。

平成29年1月元旦  
支部長 北川 裕己



画像は第26代西司令の提供

## 滝川しぶき太鼓晴れ姿



平成28年度自衛隊音楽祭（東京武道館）

に滝川しぶき太鼓が登場し、会場を大いに盛り上げた。今年の自衛隊音楽祭は11月11日から13日までの3日間、全国から選抜された13個チーム216名で編成され、滝川しぶき太鼓の団扇を振りながら隊員を応援、

平成28年度自衛隊音楽祭（東京武道館）  
（札幌市）で第36回札幌防衛セミナーが開催された。支部から、安樂顧問以下4名（根本事務局長、羽立監事役、割出広報幹事）が出席。講師は、元海上自衛隊艦隊司令官田洋二氏とカルフオルニア弁護士ント・ギルバード氏で、「中国の国家戦略から見た東シナ海と我が国の対応」・「日本の安全保障に与える自虐史」と題して講話された。香

平成28年10月22日から二日間にわたり北海道隊友会連合会構成各地方隊友会相互の意思疎通と切磋琢磨を図り、北海道における隊友活動の活性化に資することを目的に札幌定山渓にて開催された。当支部から北川支部長以下3名が参加し、北海道隊友会の将来構想について研修した。札幌病院長講話、北部方面総監による「我が国周辺諸国情勢と北部方面隊の活動について」の防衛講話があり識見を深めた。なお、研修会冒頭で平成28年度北海道隊友会連合会表彰式があり支部から割出広報幹事が広報担当理事として功績により表彰された。

## 第36回札幌防衛セミナー



## 平成28年度北海道隊友会連合会プロック研修会



元自衛艦隊司令官としての実経験から話される真に迫る迫力があり、実際に現場にいたものだけが感じる安全保障について話された。特に南シナ海に関する中国は、なぜ南シナ海に基地を作ったのか？米国の対応は？今後の中国の動きは？など軍事スペシャリストらしく解りやすい解説でした。ケント・ギルバード氏は、最初に日本を含め世界各地の勢力分布状況をスライドにより示し、日本がいかに永年にわたって他の国から支配されなかつた理由が理解できた。GHQによる戦後教育によつて、日本の良き伝統の多くがことごとく打ち消され、洗脳されてしまい、また短い期間で草案され、不備だらけの憲法が70年も続いている早く憲法改正（第9条だけでもいい）をしなければならない。と強調し、日本人に負けず劣らず愛国心の持ち主であった。



